



1

イブ ツル かわ み み

作画 蘭夢

原作 ぽんだん



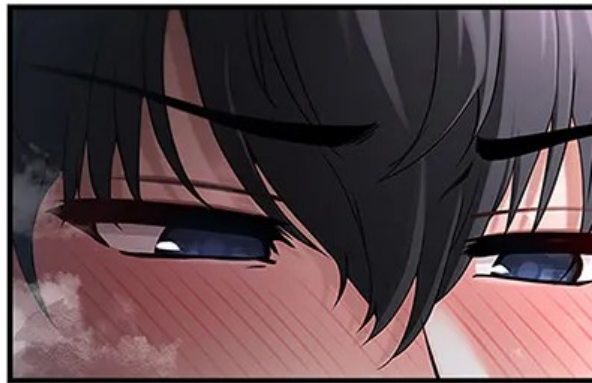


僕はいつの間にか彼女にすぎり

ふああ



ズン
ちゅ
ズン



強く求めるように
なっていた



ふええええ...

ダンッ
ダンッ

不器用な二人は
このめぐり合わせの
意味に気付くまで

かなり時間が
かかって
しまったが



最高おおお!!

今は毎日
感謝している

はっ

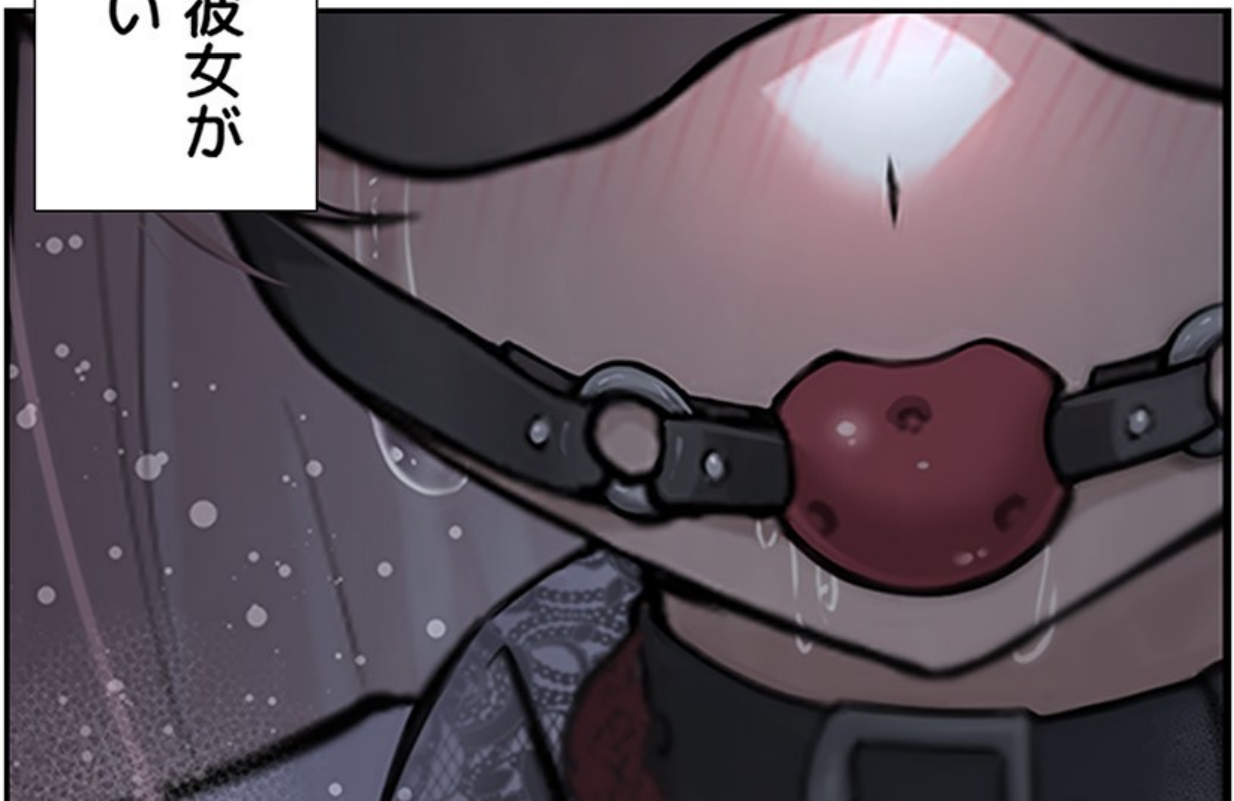
- 1年前 -

ポアア

残業続きの毎日に
嫌気がさしていた

秋驟雨が降りしきる
いつもと変わらない
会社からの帰り道





幸せになるまでを
描いたものだ

アアア





新種の変態…?
 …なわけないか
 セルフ縛りってのも
 厳しそうだしな



何だ？

こりゃどっぴんぐ
 シチュエーション
 だよ…



どうしよう…
 声かける
 べきかな…

もしかしたら
 近くで誰かが
 監視してる
 んじゃ…

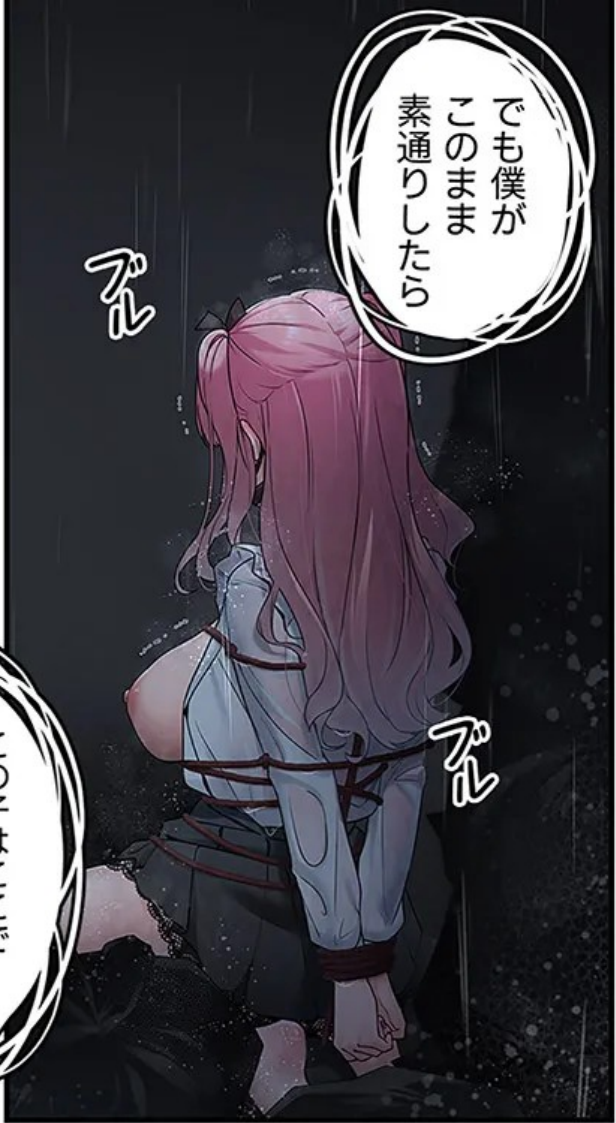
触れた途端
 お金出せって
 脅されたりして…



A●撮影…?
 いや…犯罪に
 巻き込まれてる？
 ドッキリ
 カメラか…？



この子はここで
ずっと雨に打たれて
寒さに震えなきや
いけないかも
しれないよな



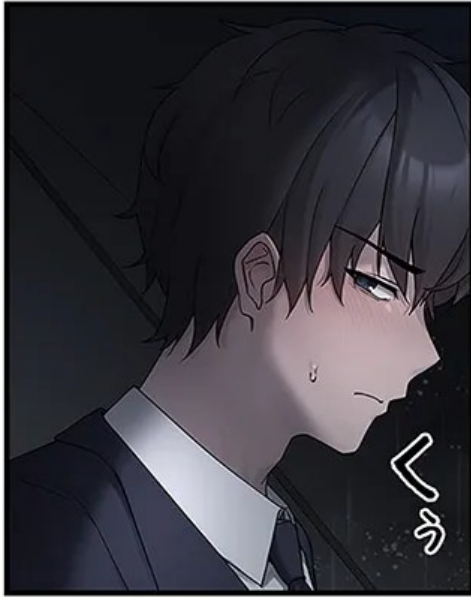
でも僕が
このまま
素通りしたら

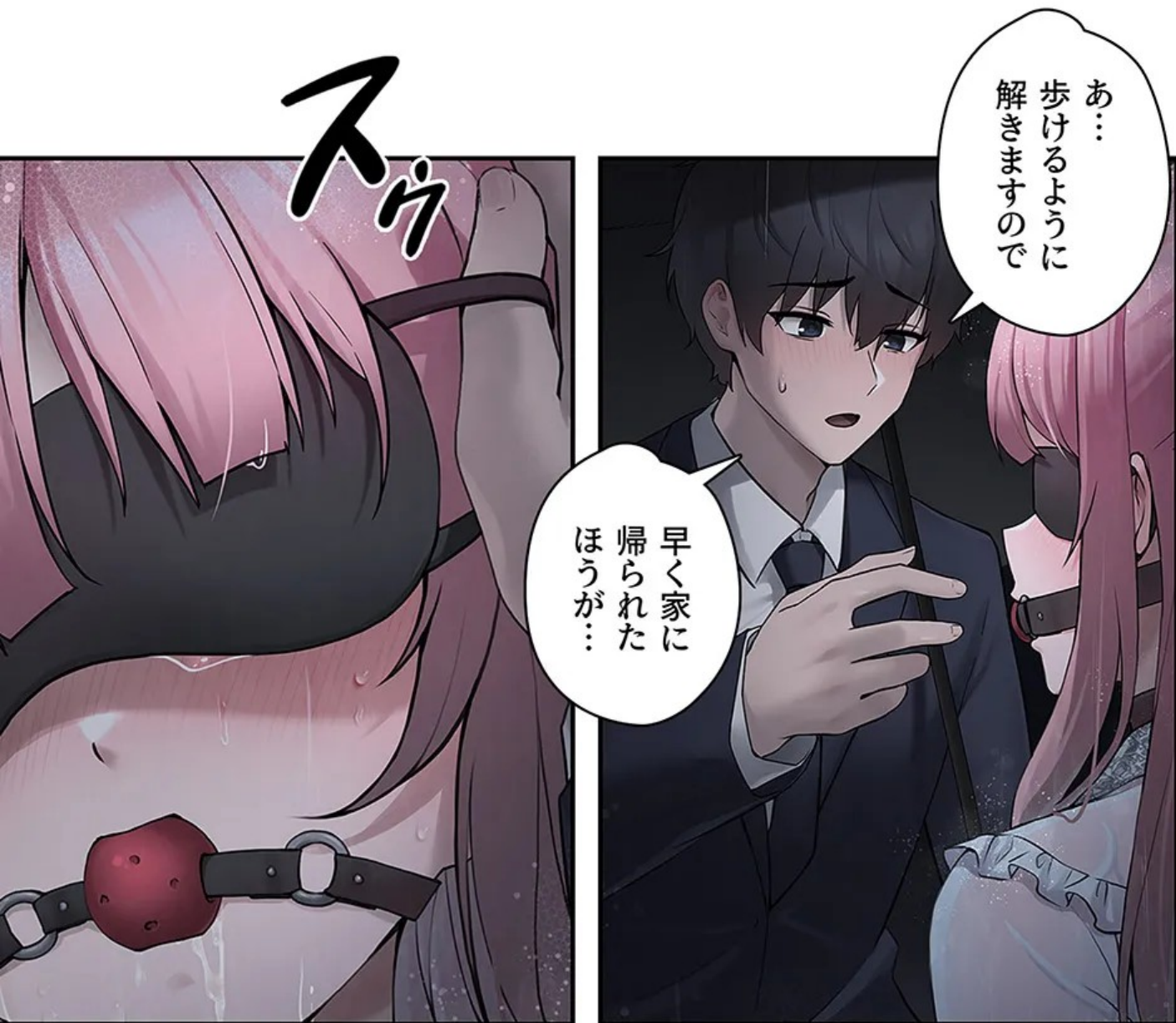


どう考えても
関わらないに
越したことはない…



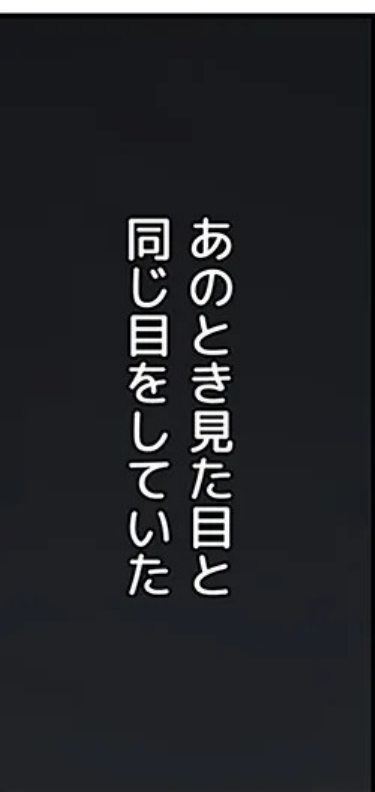
…



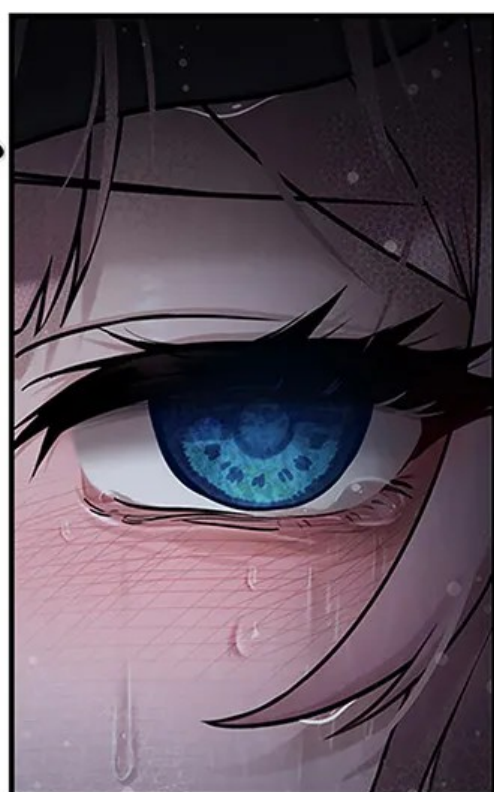


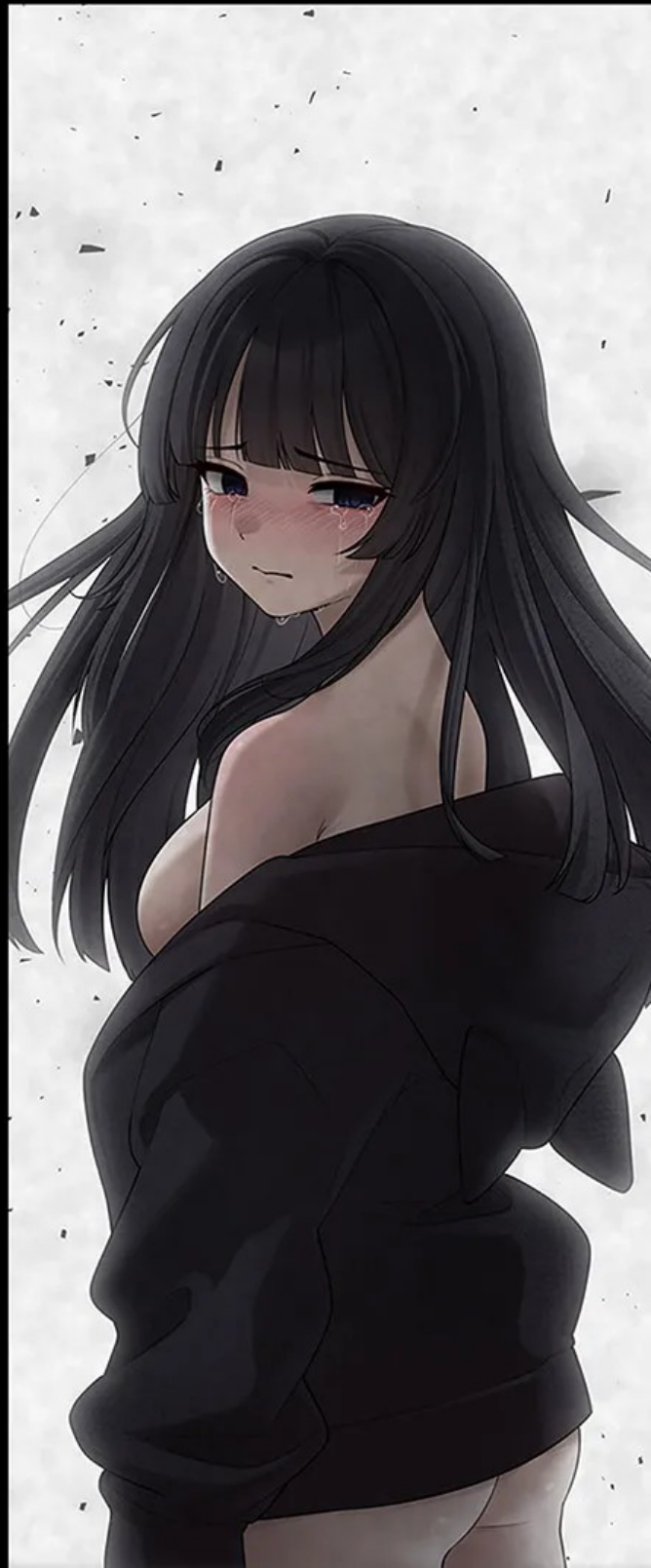
あ…
歩けるように
解きますので

早く家に
帰られた
ほうが…

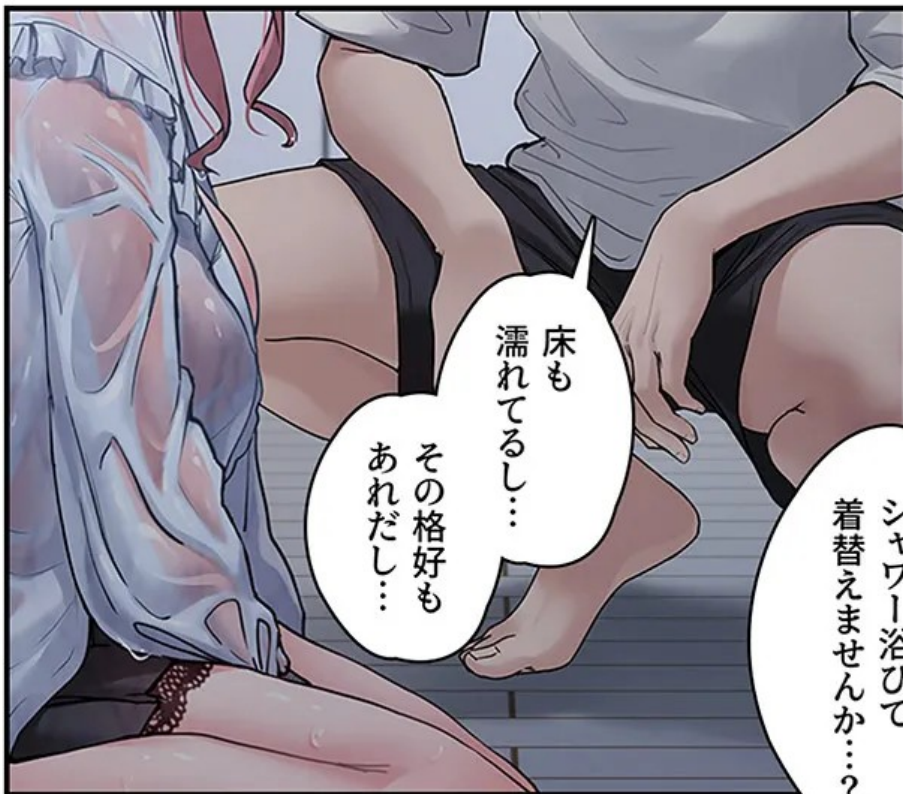


あのとき見た目と
同じ目をしていた











一緒に
浴びるん
じゃ…

ないん
ですか？



うーん

シャワー
って…



ゴッ
ゴッ

ちよっ…!!
何でここで
脱ぐんですかっ!!



!!?

へ…変なこと
言わずに
早く浴びて
きてください!!







まさか色仕掛けで
お金を巻き上げよう
っていうんじゃないや...
超怖りん
だけど...







...

はあ...

まいったな...
黙るってことは
答えたく
ないんだな...



まあ確かに...
いきなり知らない
男の家に連れて
こられたんだから
怖がるのも
無理ないよな...



あんな格好で
どうして
あそこにしたのか
気になるけど
答えてくれ
そうにないし...



帰る
家は？

...

友達
は？

...

連絡が
取れる
知り
合いも
いない
んです
か？

...





だから…
どんなこと
でもいいので
助けが必要なら
言ってください…



放っておけ
なくなつて…

救ってあげたい
って思つたんです



飼つてくれ
ませんか…？



じゃ…
じゃあ

セナ…



セナを…

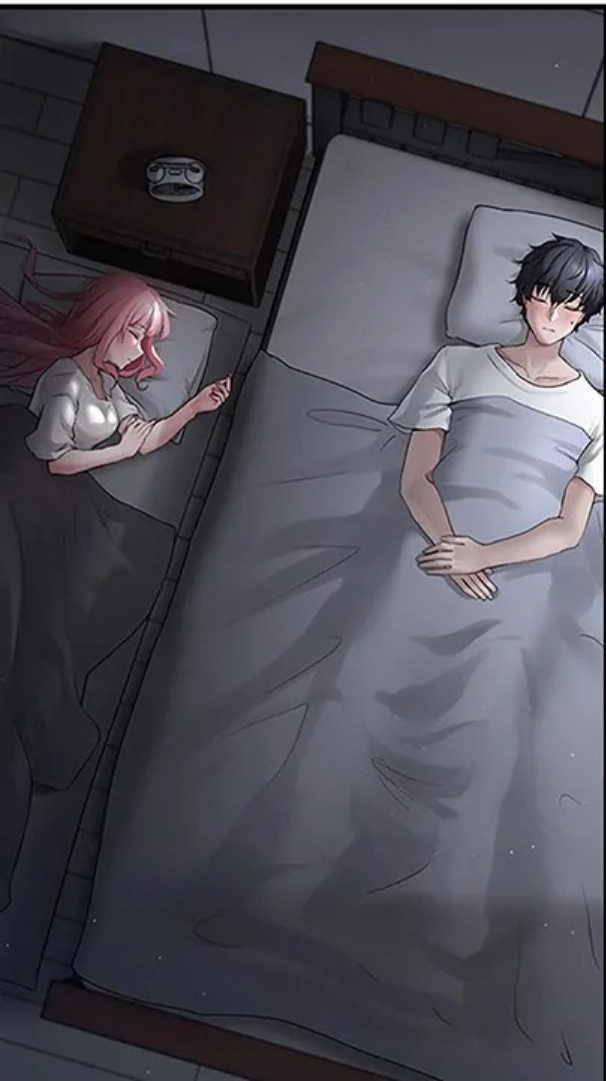


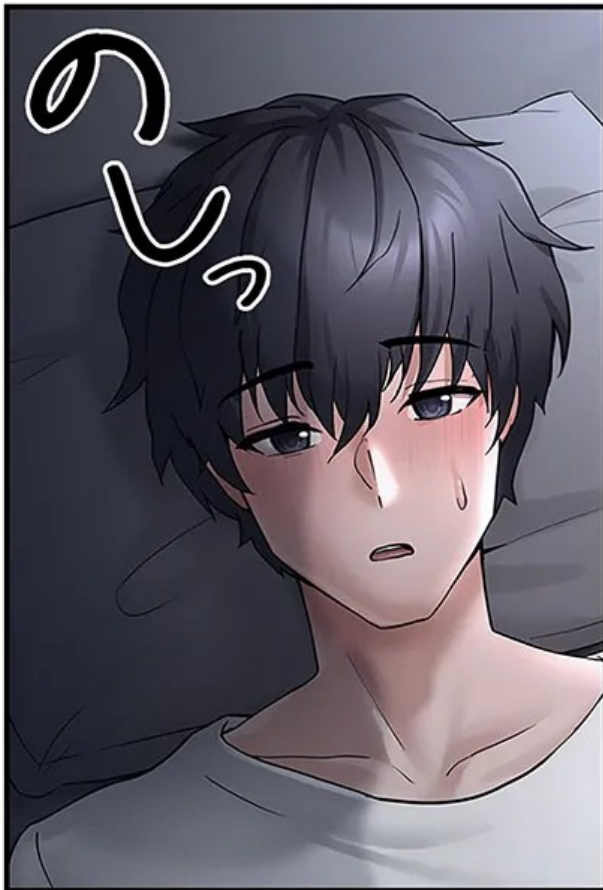


ご主人様…











眠れないなら

一発抜いて
あげましようか？



カアアア

ドク

ドク







違うならどうして
そんなことばかり
言うんですか！

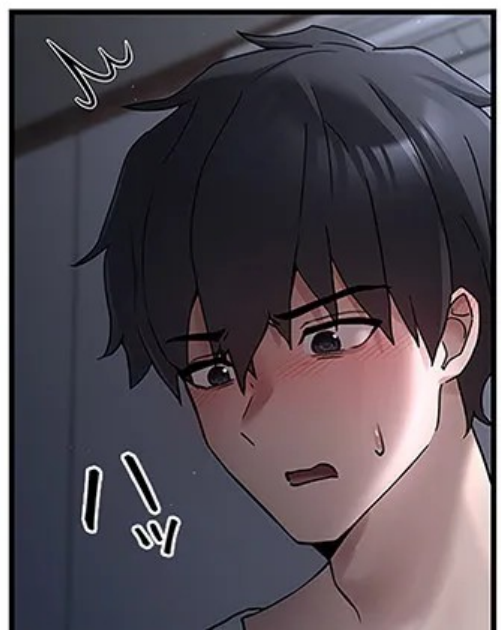
変なこと
言い続けるなら
この家から
出ていって
もらいますから！

あっ
その…



よく
聞いてください

僕はセナさんの
身の安全に関して
力になりたいって
言ったんです





少なくとも僕は
そう思ってます



セナさんの性…欲
に対してでは
ありません
分かりましたか？

そういうことは
愛し合ってる人と
するものでしょ



双方が望まない
スキンシップは
不幸を呼ぶだけだって



一方的な
愛情表現は暴力と
紙一重だから



この家から
出て行って
もらいますから！



さっきは
カッとなって
少し言い過ぎ
ちゃいましたね…
ごめんなさい

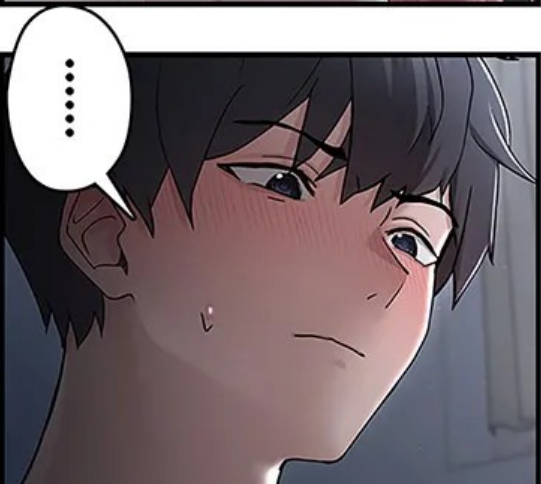
セナさんの心が
落ち着くまで
いてくれて
大丈夫ですよ

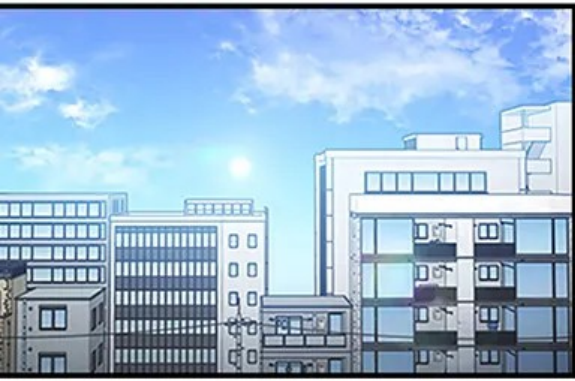


ご主人様あ



.....
♡











あつ
おをなし
鳴無先輩

はい
今日は定時に
退勤します

もう
上がり？

あまみや
天明屋



今日はとっきの
会議の議事録まで
作成して…

明日は
この資料を…



いえ

まあいろいろ
あるんですよ…

彼女でも
できた？



へへ
残業の常連が
珍しいじゃらん



先輩みたいに
能力さえあれば
残業泥棒にも
なっていないですよ

若くして
昇進したら
それも十分
価値のある
青春ですよ



いろいろって
何よりハハッ
若いんだから
恋愛もしなきゃ

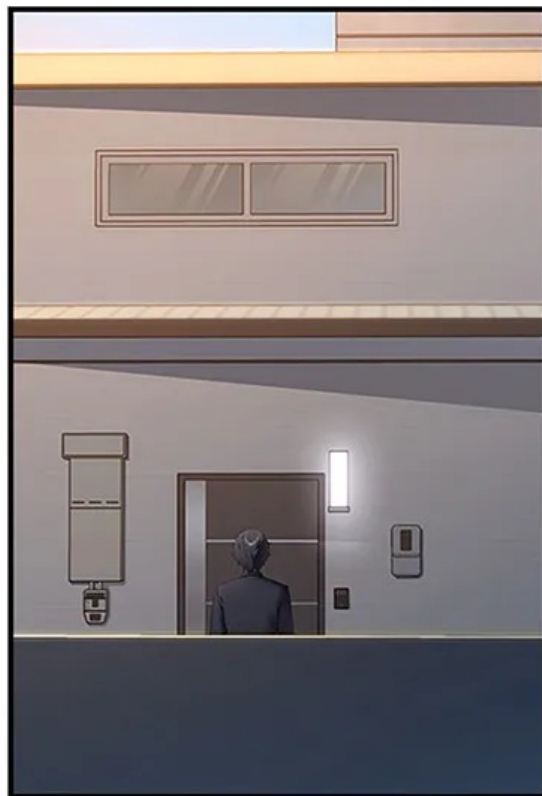
うちみたいに
会社に青春
捧げたところで…
一人寂しく年取る
だけだぞ？
ハハハッ



僕だって
好きで残ってる
わけじゃ
ありませんから

残業手当のため
でもあるんです…







おかえり
なさいませ

ご主人様



!?



お...

愛以星^{あいしや}
こつちに
いらつしやい

今日から私と
お仕事を
しましょう

お義母さんど…??

お仕事…??

お仕事中あなたは
「愛以星」じゃなくて
「セナ」になるのよ

初めての
「お客さん」はね
お迎えするのに
苦労したわ…

だけど
あなたのために
今回特別に
掛け合ったんだから

手を…
握ってくれた…



ありがとうございます
ございます
お義母さん...!!

あい...セナ
一生懸命
働きます!



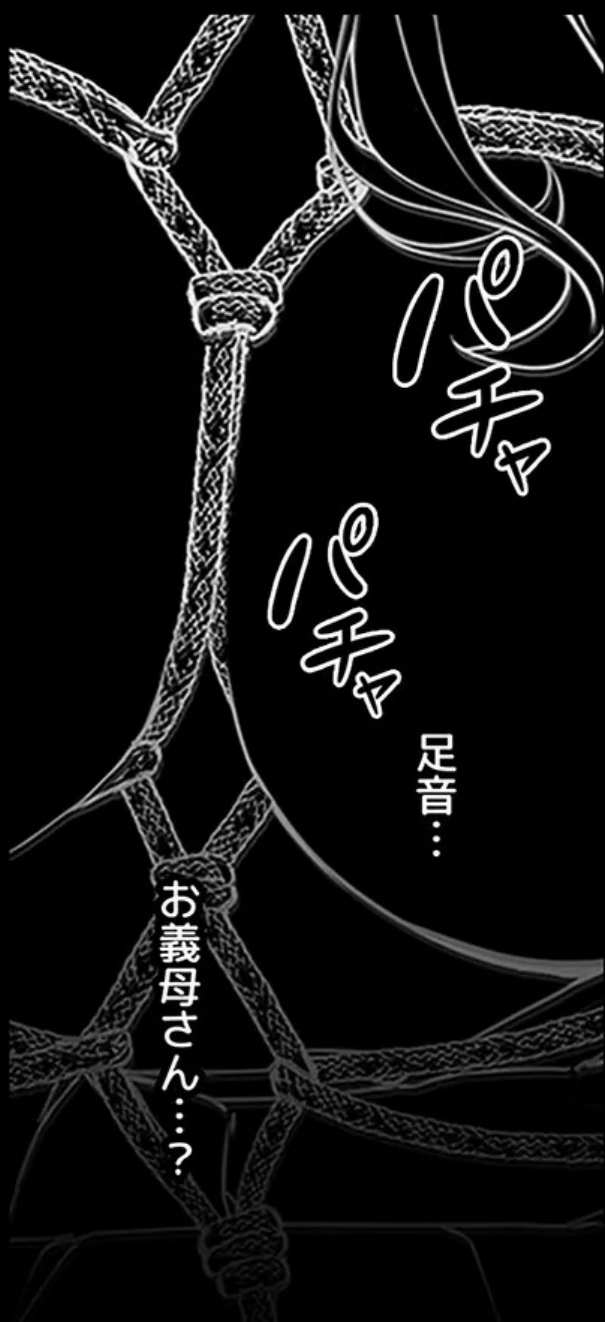
お義母さんが
愛以星のために...

ついに娘として
受け入れて
くれたのかな...



さあ
着いたわよ





んっ…？

男の人の声…

誰…？

お客さん…？

ヤダよ…

もう…

あの…
大丈夫ですか…？

怖いよ

ヤダよ

怖いよ

怖いよ

ヤダよ

あ…歩けるように
解きますので

早く家に
帰られたほうが…

家…？





いじぢは

一人で
シャワーして
いいんだ…



おしっこする姿を
見せなくていいんだ…



あ…

久しぶりに
感じる

人の温もり



エッチなこと
しなくても
いいんだ

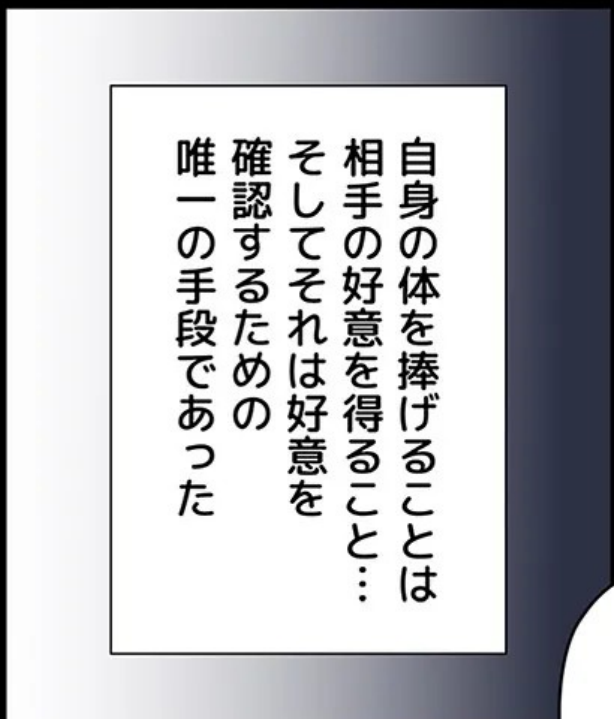
でも…そしたら
愛以星が
してあげられること
何もないのに…



お…

このころの彼女は
常識的な考えが
できず

また…
捨てられちゃう
かもしれない…



自身の体を捧げることは
相手の好意を得ること…
そしてそれは好意を
確認するための
唯一の手段であった



おかえり
なさいませ

ご主人様

それにも
関わらず
彼女は

自分に対して
欲望を抱かない
この男が気に入った

新しい
ご主人様に

嫌われちゃ
ダメ…

服着なきや
風邪ひきますよ

彼女の心に
混乱と不安を
もたらしたのだった

はあ…

もう驚きも
しな…

そのような
行動と感情の
不一致が



これ向こうで
着てみて
ください



ご主人様…

せ…セナ…



……!!



……?
……?



家にだけいる
わけにも
いけないので

買って
きました…

セナさんが
着てた服は
次回次回です…



もしかして
好みじゃ
なかったですか…？

違います!!
そうじゃ
なくて…

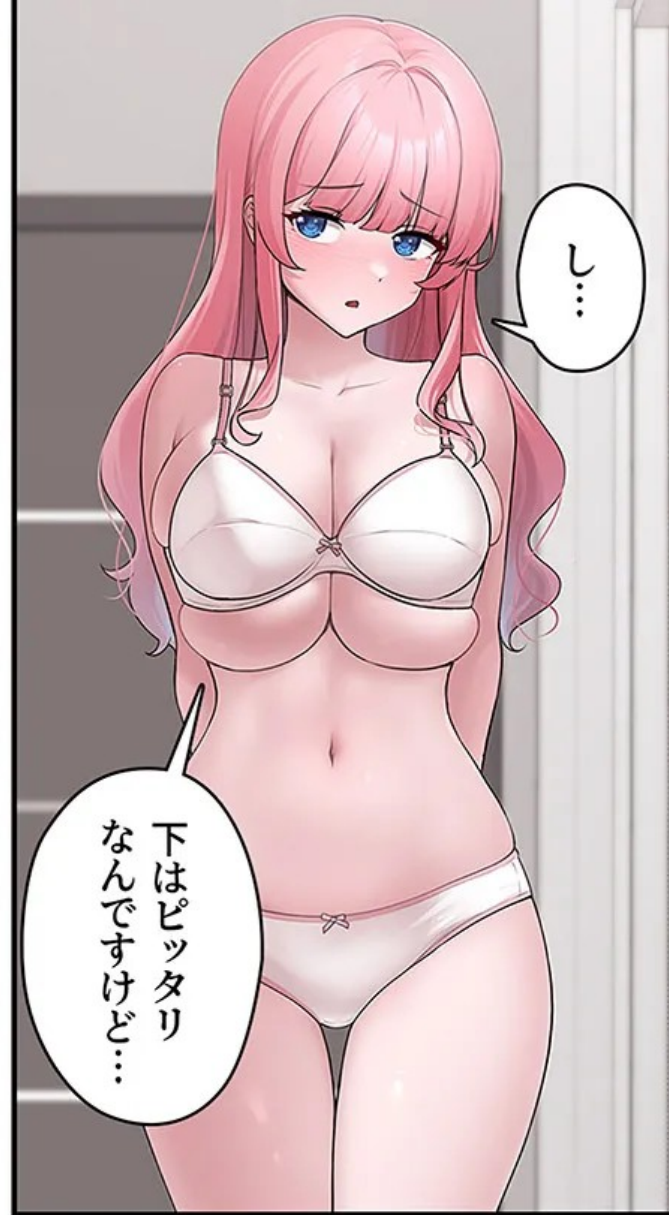


なんとか
着けることは
できたん
ですけど…

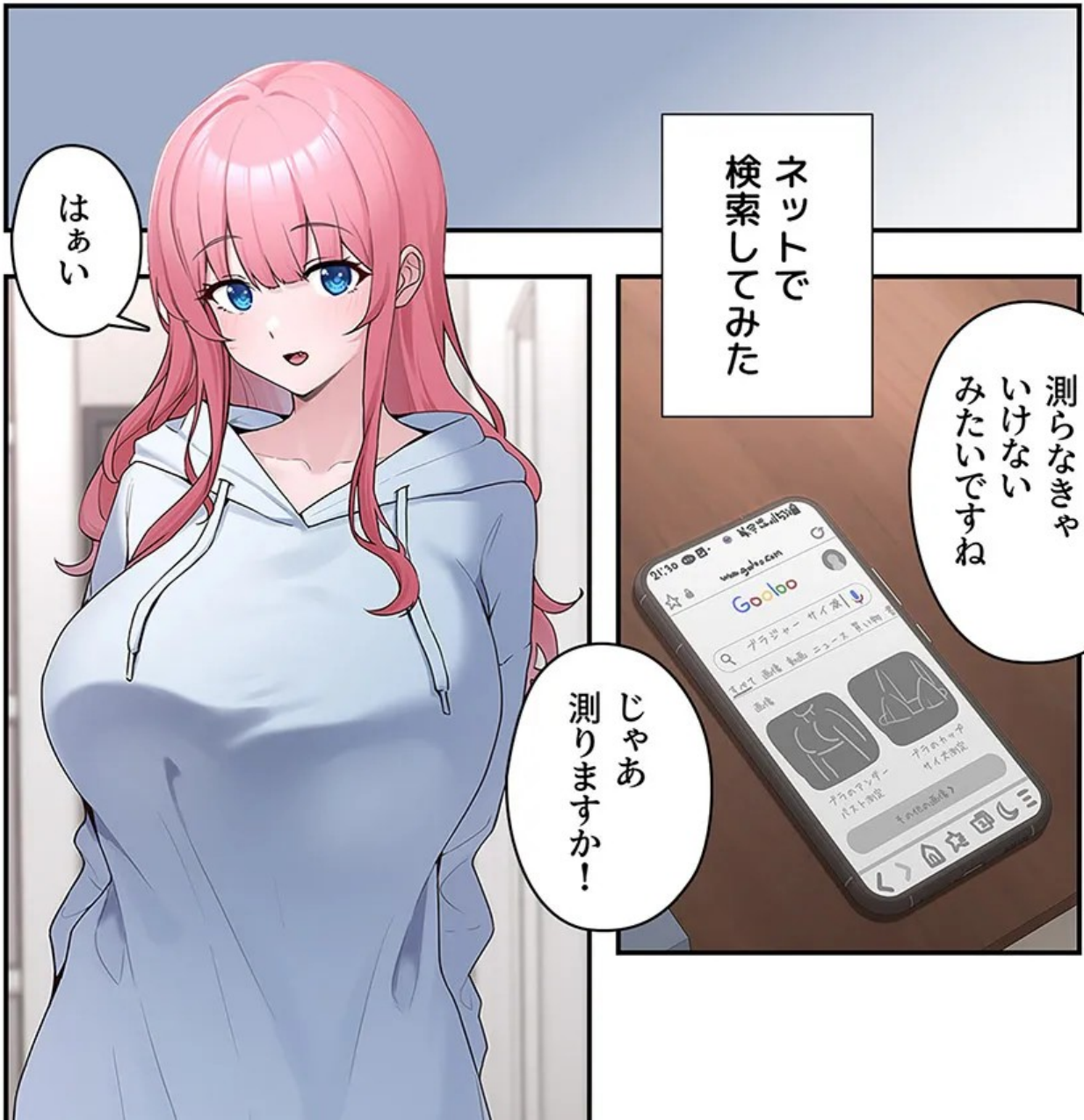


あの…
ご主人様…

はい？







はい

ネットで
検索してみた

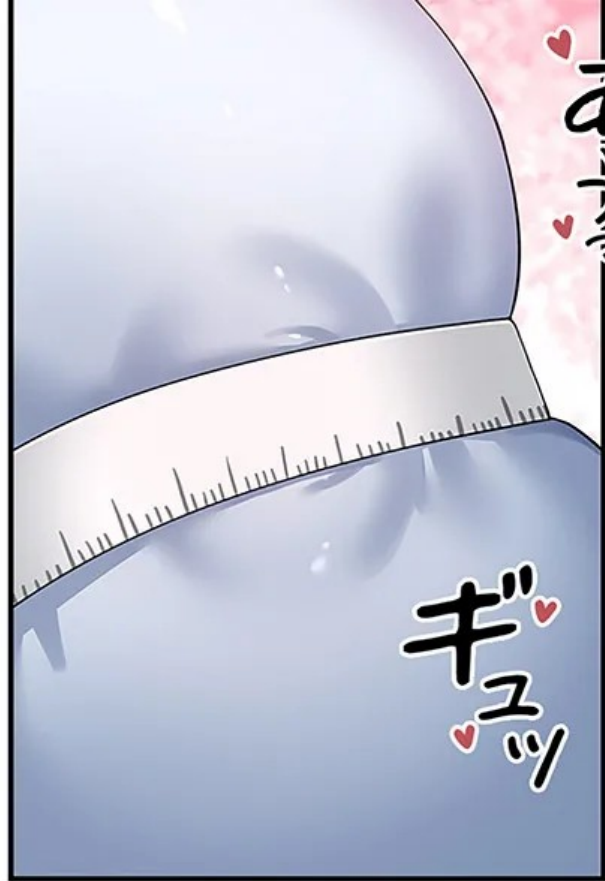
アンダー
バストと
トップバストを
測らなきゃ
いけない
みたいですね

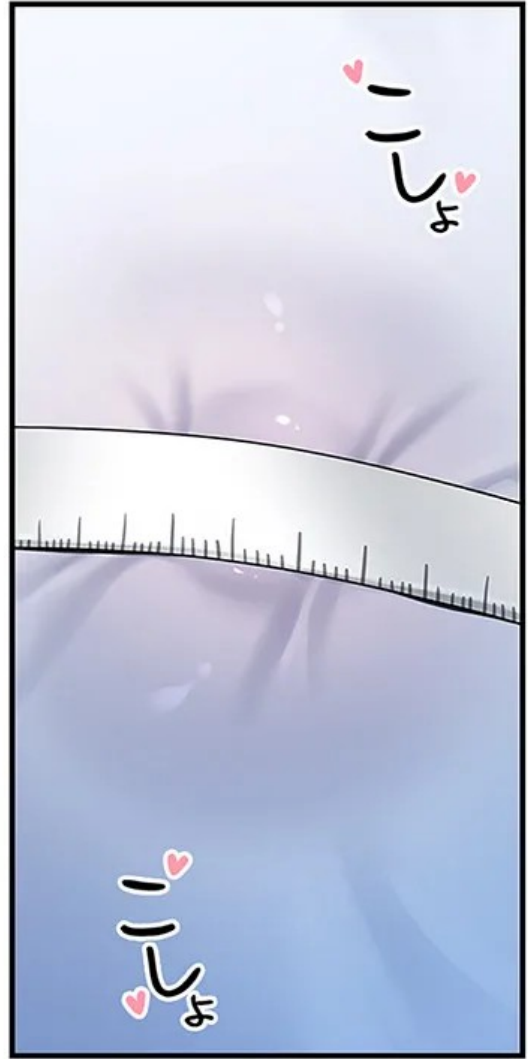
じゃあ
測りますか!



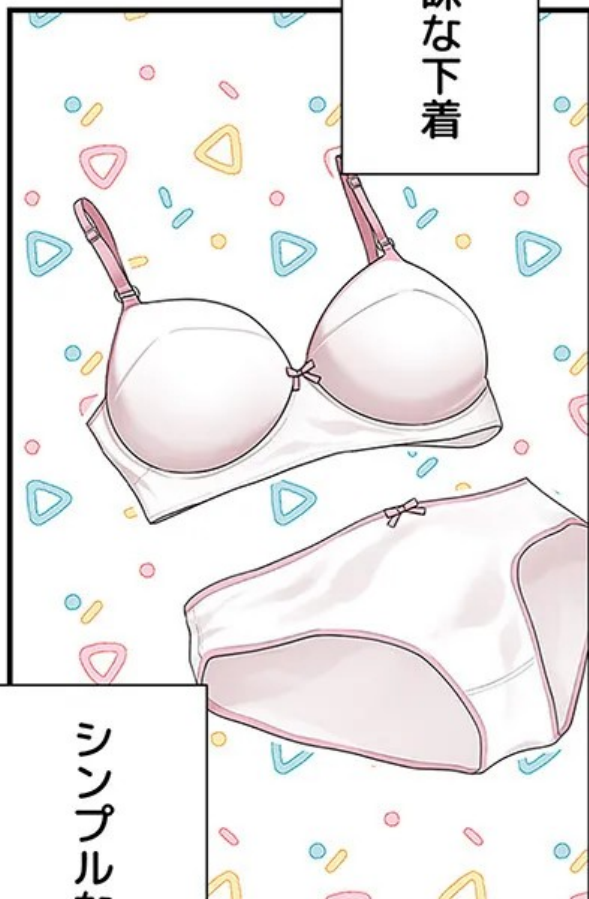








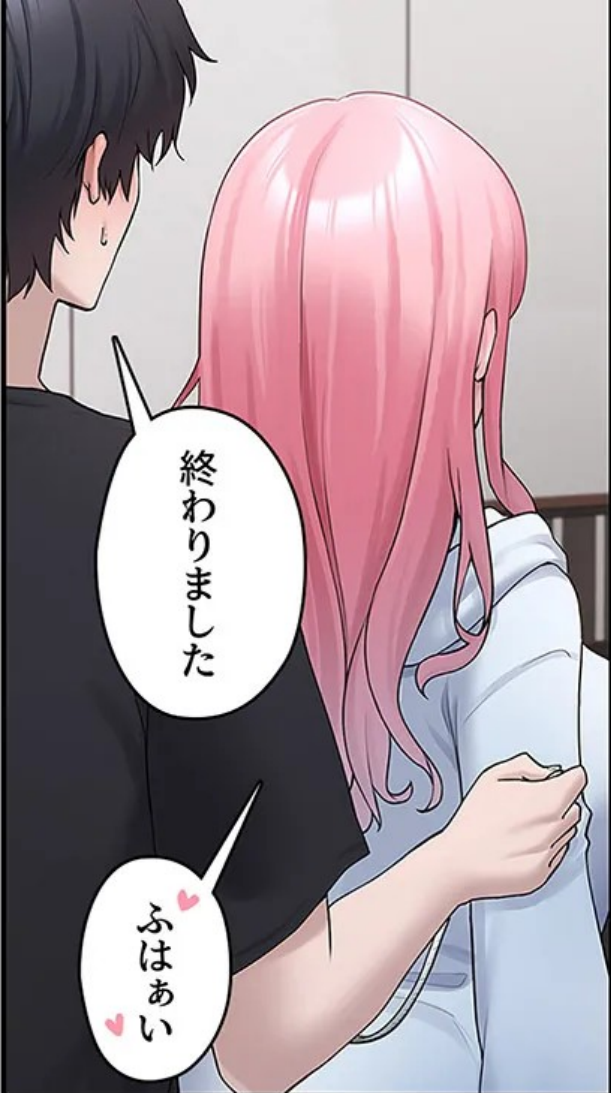
地味な下着



シンプルな服



普通の女の子たちは
こういうのを
着てるんだよね…？



終わりました

ふはあい



思ったより
大きかった…

あせっ

こりゃ
はち切れるのも
無理ないわ…

この人は愛以星に
「普通」を教えて
くれて

些細なことにも
「ごめん」って
言ってくれる

それに
「代価」を「要求」
してこない

あの
ご主人様あ

今まで出会った
怖い人たちとは
違って

ぽかぽかした
気持ちに
してくれる

ありがとう

?

次回予告



comic Blast

TOPTOON

ステラれる子 1

著者 蘭夢/ぼんだん
発行 Rush!
表紙デザイン CoCo.Design

この物語はフィクションです。
登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

© 蘭夢/ぼんだん/TOPTOON